

授業日時 2019年9月13日(金) 第4校時

単元名:

授業学級 2年A組

ベートーヴェン作曲『交響曲第5番』

授業会場 音楽室

授業者

(全3時間扱い中 第2時)

指導者

(1) ねらい

ベートーヴェンは何を表現しようとしたのかを想像し、『交響曲第5番』に込められたベートーヴェンの心情がどのような音に表れているのか、考えることができる。

(2) 授業のポイント

- ・交響曲には動機という特徴があることを学んだ子どもたちが、ベートーヴェンは何を表現しようとしたのか想像する場面。
- ・ベートーヴェンは『交響曲第5番』でどのような気持ちを表現したかったのか考える。

(3) 展開

過程	学習活動	○授業者の主発問・◇留意点・★教材	時間
導入	1. 前時の振り返りをする。	○「動機の数数を数えてみよう」 ★『交響曲第5番』を動機が13回目の部分まで流す。 ◇動機は「運命が扉を叩く音」という仮説を知っている生徒を指名する。	10分
	【学習問題】ベートーヴェンは本当に「運命が扉を叩く音」を表現していたのだろうか。		
	2. ベートーヴェンの人生を知り、その心情を考える。	○「ベートーヴェンの人生について知っていることはある？」 ◇ベートーヴェンの人生を紹介する。 ★ワークシートを配布。	5分
【学習課題】様々な動きをする動機と、ベートーヴェンの気持ちの関わりに着目して考えよう。			
展開	3. 楽器で弾き試し、ベートーヴェンは何を表現したかったのか想像する。	○「ベートーヴェンはどんなことを表現したかったのだろう。」 ○「色々な楽器で、色々な叩き方を試しながら考えてみよう。」 ○「叩いてみて思ったことを発表しよう。」	15分
	4. 再度『交響曲第5番』を鑑賞し、この曲に込められたベートーヴェンの心情がどのような音に表れているか考える。	○「ベートーヴェンはこの曲でどのような気持ちを表現したかったのか、考えながら聴こう。」 ★『交響曲第5番』の第一主題を流す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">【評価】『交響曲第5番』でベートーヴェンは何を表現しようとしたのか想像し、ベートーヴェンの心情がどのような音に表れているか考えることができる。</div>	10分
終末	5. 本時の学習を振り返る。	○「自分ならどんな題名を付けるか考えてみよう。」 ○「ベートーヴェンは本当に“運命が扉を叩く音”を表現していたのか、自分の答えをまとめよう。」 ◇数名に発表させる。	10分